



## 目的別 / 1日研修

NEW

# 情報誌の編集技術

読まれる、伝わる情報誌づくりの基本からディレクションの方法までを網羅

### ➤ 本研修の概要とねらい

- ① 手に取って読んでもらえる紙面づくりのノウハウを余すところなく学ぶ。
- ② 編集・発行・制作担当者として、またディレクターとしてコピー、書体、デザインの知識を身につける。
- ③ 国内外の豊富な成功事例と失敗事例を通じて「使用前・使用后」比較によって批評眼を養い。編集センスを磨く。

### ➤ 主なコンテンツ

編集の3要素(コピー、タイポグラフィ、デザイン)、書体の可読性、グリッド方式のレイアウト、写真とビジュアル素材の使い方、記事特性に応じた編集方法、コンテンツの多様性に挑む、読者対象の絞り込み、キャッチコピー、など(詳細は裏面のタイムテーブルをご覧ください)。

### ➤ 演習/実習の内容

- ・ミニ演習「見せる」から「読まれる」へ、「ハッとさせるキャッチコピー」の作法、「文字情報の役割」
- ・実習「エディトリアルページ/リーフレットの改善・編集」

### ➤ 受講対象(推奨)

印刷物編集発行担当者、広報担当者、観光プロモーション担当者

### ➤ 講師からの一言

編集・ディレクションキャリア数年に匹敵するノウハウを1日で身につけることができます。ミニ演習と実習はニーズに応じてカスタマイズ可能。この研修での学びはウェブ媒体にも応用できます。



一般社団法人 日本経営協会講師  
岡野 勝志(おかの かつし)

企画発想、情報編集、マーケティング、ロジカルコミュニケーション、プロフェッショナル仕事術、ディベートなどをテーマに25年間2,000回以上研修を実施。

リテラシーとコミュニケーションの研究者として、有用な言語活用や思考活性化のために精力的に新しい方法を編み出している。

著書に『ディベートで知的自己啓発』『英語は独習』などがある。

関西ディベート交流協会顧問、書評輪講カフェ主宰、知遊亭席主として様々な勉強会を開催。

現在、株式会社プロコンセプト研究所 所長、大阪府都市魅力創造プロジェクト・大阪市広報などの民間有識者協議会・審議会委員。防災・社会貢献ディベート大会審査委員長。

### 本講師の他の研修

- a. 企画力向上
- b. アイディエーターの着眼発想術
- c. ディベートの活用技術
- d. 超リテラシーの習慣形成
- e. プロフェッショナル仕事術

# 情報誌の編集技術

## 1日研修タイムテーブル案

講義テーマ	主なコンテンツ
1. はじめに～魅力ある情報誌の編集技術 2. エディトリアルの基本―「見せる」から「読まれる」へ 【ミニ演習】 3. 紙面編集事例の研究と分析(ビフォー・アフターによる比較評価) 4. 広報ツール全般の編集項目	☞ 編集基本方針、新しい編集術、編集の3要素 ☞ コピー、タイポグラフィ、グリッド方式、デザイン  ☞ 書体の可読性、レイアウト、カラー、ビジュアル素材  ☞ マストヘッド、記事特性に応じた編集、コンテンツの多様性
5. コピーライティング―誰に向けて何をどのように書くか	☞ メッセージの表現、読者へのアプローチ、多様化の時代 に選ばれるために
昼 食 休 憩	
6. コンセプトを「ハッとすることば」で表現する 【ミニ演習】 7. 見出し・コピー事例の研究と分析  8. 見出し、リード、本文、キャプションの役割と位置付け 【ミニ演習】 9. 【実習】 エディトリアルページリーフレットの編集 10. 【実習の発表と評価】	☞ 内容と表現、陳腐な表現・常套句、パラフレーズ、タイトルとネーミング ☞ 表現・概念の階層、コミュニケーションとディスコミュニケーション、アナロジー、エピソードと物語 ☞ 見出し、リードから本文への流れ、写真説明
【個別講評と総評、研修のまとめ】	

### ■本研修を受講した研修生の感想

- ◆これまで何も知らずに行き当たりばつたりで編集していたことを痛感した。
- ◆何もかも目からウロコの専門家のノウハウでした。
- ◆「グリッド方式」のエディトリアル・デザインを早速活用したいと思います。

### ■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

国際広報での広報誌編集で培った豊富な知識とノウハウを持つ講師です。満を持して開発された新しい研修で、セオリーと事例のバランスが取れた内容になっています。

## 本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)  
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319  
URL <http://www.noma.or.jp>